

Español Lengua Extranjera



Preparación al examen

Adaptado a
los nuevos modelos
de examen

Especial DELE A2 Curso completo

Curso:
Pilar Alzugaray
Mónica García-Viñó
Modelos de examen:
Mónica García-Viñó



Audio descargable

Requerido para obtener
la nacionalidad española

 edelsa

Comprensión de lectura

文章読解問題

TAREA 3 P115 重要語句・フレーズ

14. ¿Quién decidió sus estudios por tradición familiar?

キ**エン** デスイディ**オ** スス エス**ト**ウーディオス ポル トラディスイ**オン**
ファミリ**ア**ール？

「家族の伝統に従って研究（内容）を決めたのは誰ですか？」

decidir 「決める」「決意する・決心する」

por tradición の por は「～によって」ということですね。

15. ¿Quién encontró a su pareja en la universidad?

キ**エン** エンコント**ロ** ア ス パ**レ**ハ エン ラ ウニベルスイ**ダ**？

「パートナー（夫）と大学で出会ったのは誰ですか？」

encontrar a ○○ 「○○と（偶然に）会う・出会う」

pareja 「カップル」「パートナー」

16. ¿Quién cree que no fue una buena decisión?

キ**エン** ク**レ**エ ケ ノ **フ**エ **ウ**ナ ブ**エ**ナ デスイスイ**オン**？

「良い決断ではなかったと思っているのは誰ですか？」

creer que ○○ 「○○と思う」

decisión 「決意・決心」

17. ¿Para quién fue difícil decidir?

パラ キ~~エン~~ フェ デイ~~フイ~~スイウ デスイ~~ディール~~?

「誰にとって、難しい決断だったのですか？」

difícil de+動詞原型 / difícil+動詞原型「～することが難しい」

fácil de+動詞原型 / fácil+動詞原型「～することが簡単である」

18. ¿Quién piensa estudiar otra carrera?

キ~~エン~~ ピ~~エン~~サ エストウデイ~~アール~~ ~~オートラ~~ カ~~レ~~ラ?

「他の課程で学ぼうと考えているのは誰ですか？」

pensar+動詞原型「～することを考える」

19. ¿Quién no tiene su titulación todavía?

キ~~エン~~ ノ テイ~~エ~~ネ ス テイトウラスイ~~オン~~ トダ~~ビー~~ア?

「まだ卒業資格を持っていないのは誰ですか？」

titulación「卒業資格」

a) Paula

instituto「(国公立の) 高校・専門学校」

no tenía claro que ○○

「○○についてハッキリしていなかった・確かな考えを持っていなかった」

a veces...otras veces～「...なこともあれば～なこともある」

como mi madre の como は「～として」ということですね。

la verdad es que ○○「実際には○○である」「事実として○○である」

この表現は、この講座でも既に何度も出てきています。

recuerdo que ○○「○○であることを覚えている・思い出す」

quedar は、ここでは「残る・残っている」という意味で使われています。

plazo「期限・期間」

matrícula「登録」「入学手続き」

no sabía qué hacer「どうすれば良いか分からなかった」

現在形だと、no sé qué hacer「どうすれば良いか分からない」ですね。

encender は、

家電などの「スイッチを入れる」というニュアンスで使われます。

Estaban poniendo un documental の部分は「ドキュメントが放送されていた」という感じで捉えると良いです。

psicología「心理学」

me pareció muy interesante「(私にとっては) とても興味深かった」

現在形で表現するなら、me parece muy interesante となりますね。

eso es lo que quería+動詞原型「それが、私が～したかったことである」

estoy contento con ○○ / estoy contenta con ○○「○○に満足している」

me encanta「私は～が好き」

me gusta よりも「好き」の度合いが強い表現になります。

conocer a ○○「○○と知り合いになる・出会う」

では、以下に、a)の Paula さんのスペイン語と日本語訳を記載します。

a) Paula

Cuando estaba en el instituto no tenía muy claro qué quería ser en el futuro.

クアンド エスターバ エン エル インスティトゥート ノ テニア ムイク
ラーロ ケ ケリア セール エン エル フトゥーロ。

学生の頃、将来、何になりたいのかはあまり明確ではありませんでした。

A veces quería ser profesora, como mi madre. Otras veces pensaba que lo mejor era estudiar arquitectura, como mi hermano mayor.

ア ベセス ケリア セール プロフェソーラ、コモ ミ マドレ。
オートラ ベセス ペンサーバ ケ ロ メホール エラ
エストゥディアル アルキテクトーラ、コモ ミ エルマーノ
マジョール。

母のような教師になりたいともありました。一方で、兄のように建築を学ぶのが良いともありました。

Pero la verdad es que no me gustaba ninguno de los dos trabajos.

ペロ ラ ベルダ エス ケ ノ メ グスターバ ニンゲーノ デ ロス
ドス トラバホス。

しかし、実際には私はどちらの仕事も好きではありませんでした。

Recuerdo que solo quedaba un día para terminar el plazo de matrícula y todavía no sabía qué hacer.

レクエルド ケ ソロ ケダーバ ウン ディーア パラ テルミナル エ
ル プラソ デ マトリクラ イ トダビーア ノ サビア ケ
アセール。

登録期限まで1日しかありませんでしたが、どうすべきか分からなかったことを覚えています。

Estaba muy nerviosa y encendí la televisión.

エスターバ ムイ ネルビオーサ イ エンセンディ ラ テレビスイオン。
とてもナーバスになっていてテレビをつけました。

Estaban poniendo un documental sobre psicología que me pareció muy interesante y pensé que eso es lo que quería estudiar.

エスターバン ポニエンド ウン ドクメンタウ ソブレ スイコロヒーア
ケ メ パレスイオ ムイ インテレサnte イ ペンセ ケ エソ エス
ロ ケ ケリア エストウディアル。

心理学に関するドキュメンタリーがやっていて、私はとても興味を持ち、それこそが、私が学びたいことだと思いました。

Y la verdad es que estoy muy contenta con mi decisión.

イ ラ ベルダ エス ケ エストイ ムイ コンテンタ コン ミ
デスイスイオン。

そして実際に、私自身の決断にとっても満足しています。

Me encanta mi trabajo y además, en la universidad conocí a Andrés, mi marido...

メ エンカnタ ミ トラバホ イ アデマス、エン ラ ウニベルスイダ
コノスイ ア アンドレス、ミ マリード...

私は自分の仕事を気に入っており、また、大学で夫のアンドレスと知り合いました。

b) Maite

tener que + 動詞原型「～しなければならない」

ここでは、tener が tuve、点過去になっていますね。

tanto...como～は「...と同じくらい～」という表現もあるのですが、

ここでは「**...だけではなく～も**」という表現で使われています。

medicina は「薬」という意味以外にも「医学・医療」という意味もあります。

tenía muy claro lo que iba a ser「何になるかは明確（明白）だった」

a)の Paula のところでも似たような表現がありましたね。

lo que no sabía muy bien es ○○「よく分からなかったのは○○である」

especialidad「専門」「専攻」「特産品・名物」「特性」

elegir「選ぶ」「選択する」

traumatólogo / traumatóloga「外傷の専門医」

oftalmólogo / oftalmóloga「眼科医」

cada uno は「それぞれが」という感じですが、ここでいう「それぞれ」は、
mi padre と mi madre のことです。

propio / propia「～自身の」

大抵の場合、所有代名詞の mi や suなどを伴います。

lo lógico era + 動詞原型「～するのは当然だった」

「～するのは当然だ」と現在形で表現するなら、era を es にすれば良いです。

seguir は「ついて行く」「追いかける」などの意味で使われることが多いですが、ここでは「継ぐ・継承する」という意味で使われています。

después de mucho pensar 「熟考の末に」 「考えに考えた結果」
decidir que ○○ 「○○することを決心する」

pediatra 「小児科医」

examinar は「試験する」「検査する」という動詞ですが、
「自分が試験を受ける」ということで me examino と表現しているのです。
asignatura 「科目」

では、以下に、b)の Matie さんのスペイン語の日本語訳を記載します。

b) Maite

私は、学業を選ぶために考えなくて良かったのです。父も母も医者で、祖父も医者でしたし、兄は医学を学んでいました。子供の頃から、将来のことは明確でした。なので、簡単な決断でした。ハッキリしていなかったのは、どの専門分野を選択するかということでした。父は外傷の専門医で、母は眼科医で、2人とも自分の病院を持っています。それら2つの専門が浮かぶのが当然でしたが、熟考の末に小児科医になりたいと決心しました。子供が大好きでした。来週、最後の学科の試験があります。

c) Violeta

periodista 「ジャーナリスト」「新聞記者」

jugar a ○○ 「○○ごっこをする」「○○をして遊ぶ」

このケースでは、○○に当たるのは

que éramos reporteras en países lejanos になりますね。

reportero / reportera 「報道記者」「レポーター」

lejano / lejana 「遠い」

ayudar a ○○ 「○○を手伝う・助ける」

○○には「人」を表す語句が入ります。

ayudar a + 動詞原型 「～することを手伝う・助ける」

descubrir 「発見する」「見つける」

crimen 「犯罪」「罪」・・・複数形の場合は crímenes となります。

periodismo 「ジャーナリズム」

Nuestra idea del periodismo era la de las series de televisión の部分ですが、
era la de...の部分は era la idea de las series de televisión

つまり、idea が省略されているのです。era という ser 動詞 + de～、という形
なので「～から来ている」、つまり「テレビからヒントを得た」というような
ことを言っているのです。

bachillerato

日本とスペイン語圏の国では教育システムが異なりますが、日本で言う高校
が、スペイン語だと bachillerato が一番近いです。

matricularse 「登録する」「入学手続きをする」

ここでは「私たちは入学手続きをしました」なので nos matriculamos となりま
す。

Ciencias de la Información 「情報科学」

muy pronto 「すぐに」「程なくして」

estúpido / estúpida 「バカな」「愚かな」

dijeron は decir「言う」という動詞の点過去ですね。
me dijeron なので「私に言った」と言うことですね。

lo mejor es+動詞原型「～した方が良い」「良いのは、～することである」

ここでは、時制の一致で es ではなく era となっていますね。つまり、前の動詞の dijeron という過去形に合わせて es が era という過去形になっています。

pensar en～「～についてよく考える」

Ingeniería informática「情報処理工学」

では、以下に、c)の Violeta さんのスペイン語の日本語訳を記載します。

c) Violeta

学生の頃から、友人のロサと私はジャーナリストになりたいと決めていました。いつも、遠い国の記者で警察が犯罪を摘発することをサポートすることを演じていました... 私たちのジャーナリズムのアイデアはテレビシリーズから得ていました。ですから、高校を卒業して情報科学科に進学しました。すぐに、私は（ジャーナリズムが）好きではなく、愚かな考えだったと気付きました。3期目の間、両親と話し合い、両親は、辞めて他のことを勉強した方が良いと言いました。今年、最後のコースが終了しますが、情報処理工学科に進むつもりです。

はい。それでは最後に、課題です。

この TAREA 3 で出てきた問題の中で、
a の Paula のスペイン語を、最低 5 回は

音読しましょう。なぜか？それは、、、

- ・ スペイン語を話すことに慣れる
- ・ 動詞の活用の変化に慣れる
- ・ 口に出すことで脳を活性化させ、語彙力を高める

ということです。

以下のサイトで、発音を確認することが出来ます。

<https://ondoku3.com/ja/>

「ここに読み上げたいテキストを貼りつけてください。」という文字を消し、そこに読み上げたい（発音を確認したい）スペイン語を貼り付けます。

次に、「言語」を Español に変えます。Español España か Español México で良いでしょう。速度は「× 1」が標準速度となります。

最後に「読み上げ」をクリックすると、発音を確認出来ます。

* Maite と Violeta のスペイン語については、日本語訳のみ記載します